

北海道芸術文化

No.68

新年のメッセージ

北海道文化団体協議会

会長 下沢敏也様

新年を迎えるに当たり、黒龍江省人民政府外事弁公室を代表し、貴殿を代表とする貴協議会の友人の皆さまにご家族に心からのご挨拶をお届けいたします。皆さまが新しい年を楽しく過ごされ、すべてのご家庭が幸せでありますように!

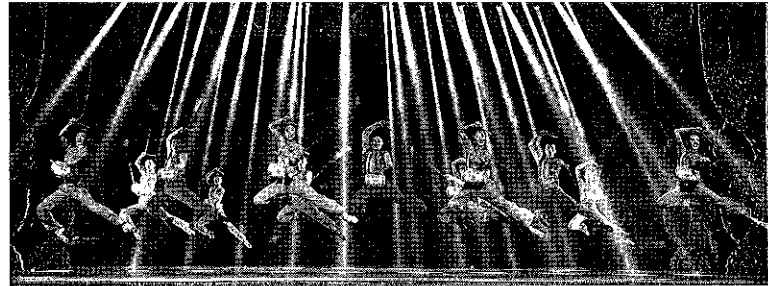
昨年は黒龍江省と北海道の友好提携35周年でした。我が省と北海道が努力して新型コロナウイルスの影響を克服し、オンラインでの記念活動を成功させました。私どもの省と北海道の友好提携以来、北海道文化団体協議会は黒龍江省と北海道の文化芸術交流に力を尽くされ、二つの省・道の人文分野における友好往来に積極的な貢献をされてきました。このことに対し、貴協議会に心からの感謝を表しますとともに、崇高の敬意をお伝えいたします。

今年は中日国交正常化50周年です。私は貴協議会並びに北海道の友人の皆さまと共に努力をし、多角的で内容豊富な活動を通して、人文交流と民間友好交流を断続なく続け、相互理解をさらに一歩進めて情感の絆を強め、両国の民衆が知り合い、近づき、互いに見合うことで中日友好の民意の基礎固めを促進し、両地域、ひいては両国の友好関係をさらに強固に、粘り強く、人の心にやさしいものにしていくことを願っております。

黒龍江省人民政府外事弁公室

主任 呉 文革

2022年2月8日

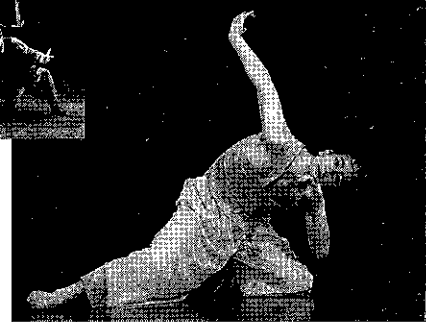


中国黒龍江省芸術団▲



▲ダンススタジオオマインド(舞人)

▼能藤玲子創作舞踊団



北海道の若いダンサーたちが熱いメッセージを送りました

昨年は北海道と中国黒龍江省が友好関係を締結して35周年。それを記念して、Web上で交流を行いました。黒龍江省からは芸術団の伝統的な太鼓の舞踊が登場、北海道からはダンススタジオオマインド(舞人)と能藤玲子創作舞踊団・小松昂太さんの作品を披露しました。

この2年間はコロナ禍により相互訪問による交流が途絶えています。が、一日も早い再開を願っています。



QRコードからご覧ください。

63rd

北海道文化集会

国際文化フォーラム

文化で育む多様性社会をHOKKAIDOから ～異文化を知る生活者の視点で～

モデレーター



熊谷ユリヤ
札幌大学教授

道内各地には長い歴史を刻み活動を続ける多くの文化団体があります。社会環境が変わる中でさらなる文化活動の活性化を考えると、これまで以上に、市民の芸術・文化への関わり方や支援、環境整備など、様々な角度からのアプローチが求められます。例えば人口減少による労働力不足の対策として外国人の移入はすでに始

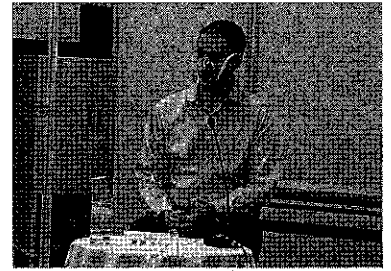
まっております。海外から来た新しい道民、市町村民が文化活動の担い手となる日は、そう遠くない時期にやってくる。そこで原点に帰って文化活動を見つめ直すに当たり、北海道での生活が長い外国出身のみなさんは現状をどう見ているのか。文化活動の裾野を広げ、互いの個性や違いを認め合う多様性社会の実現にもつながるこれからの文化振興へのヒントなど、忌憚のない意見をいただきました。

参加したパネリストは日本の各地や北海道での暮らしに溶け込んだ地元民としての経験に加え、各大陸代表の視点から、興味深い意見が数多く出されました。

モデレーターは北海道を代表する英語の同時通訳者、詩人、ハープ奏者として幅広く活躍する札幌大学教授の熊谷ユリヤ氏に務めていただきました。

パネリスト

フォーラムのねらい



熊田カリン(アメリカ出身)
「銘酒の裕多加」取締役常務



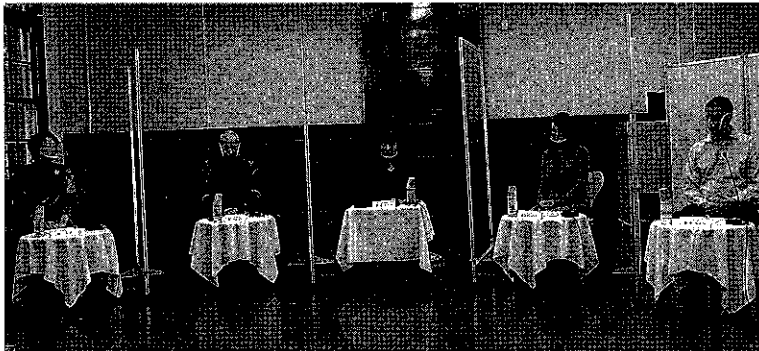
鳥居マグロンヌ(フランス出身)
翻訳家



キーラン・カルヘン(オーストラリア出身)
不動産管理マネージャー



邢 玉芝(中国出身)
北海道大学中国語非常勤講師



収録会場となった札幌市資料館。新型コロナウイルス感染防止のため、限定公開のうえ十分な感染予防策を講じて収録を行いました。

北海道の文化って何？

4人のパネリストが北海道にきた目的や理由はそれぞれに違いますが、「歴史は浅いが全国から移住してきた人たちによる開拓からの素晴らしい文化があり、北海道人の心のゆとりが、外国人を受け入れてくれる素地になっていて、そこが本州と違うところ、と経験談を交えて語ります。

一方で、アイヌ文化を含め、日本の文化に興味を持っている人が少なく、質問しても答えられない人が多い。こんなにいい文化を持っている自分の国よりも外に興味を持っている人が多いというのはいらないと強調します。

北海道の文化は何？と聞かれても答えに窮する人が多いように感じるところから、北海道が力を入れている「食」

を北海道の文化として育てるべきではとの意見も。

町内会行事との接点は

地域のお祭りなどに誘われることは、それほど多くないのが実態のよう。町内会の会報などで、どんな行事があるかが初めて分かることも多く、そのためか地域の若い人が参加できていないのももったいないと受け止めているようです。

在住外国人のなかには日本人のサークルに参加したいが、そのきっかけがないとのこと。特に小さい子供がいる母親は、そういう場所で友達ができることを望んでいるようです。

文団協を初めて知りました

パネリストのみなさんは、今回の参加を契機に文団協の存在を初めて知っ

たようです。多くの文化団体が加盟していても、外からやってきた新たな道民との接点をどうするか大きな問題です。

いわゆるSNSなどネット環境を整備して情報発信を行うのが常套手段ですが、みなさん意外と「口コミ」を推奨します。募集チラシを見ても参加には勇気が必要とのこと。というのも日本の伝統文化は「極める」ことを求める印象が強く、どうしても敷居が高くなり、なかなか一歩が踏み出せないようです。そこで有効なのが「体験会」。一人の外国人が体験会で感触をつかむと、その情報が友達から友達へと伝わる力が鍵となりそうです。

また在住外国人のネットワークを使うことがポイントとのアドバイスも。

文化は心で通じ合える

日本語が通じない外国人にはどうしても尻込みしてしまいますが、「体験型の交流は言葉がでなくても大丈夫」とはみなさんの経験談。例えば料理やいけ花など、言葉が分からなくても、見様見真似でやってみることが大事で、心は十分伝わるようです。また、日本人は英語がダメと言っているも、交流してみると結構大丈夫な人は多いと指摘します。

一歩踏み出す努力は、参加する側、受け入れる側、双方にあります。

文団協賞表彰式

令和3年度の北海道文団協賞各賞の表彰式を、文化集会の会場で実施しました。今回も新型コロナウイルスの感染予防のため、芸術賞と文団協賞のみの贈呈とし奨励賞並びに全道シルバー作品展については、賞状等を郵送で受賞者皆さんへお届けしました。

文団協賞については4ページを、全道シルバー作品展については7ページをご参照ください。



芸術賞の荒松青嶺さん(右から2人目)と文団協賞の小林洋一さん(同3人目)を囲んで、下沢敏也会長(左端)と宏瀬賢二副会長(右端)

アートステージ

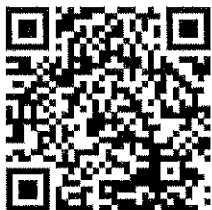
アートステージは、北海道と中国黒龍江省の友好提携35周年を記念した構成となっています。

別収録した、黒龍江省芸術団、ダンススタジオマインド(舞人)、能藤玲子創作舞踊団の3団体の舞踊をお楽しみください。

1ページ参照。

北海道文団協ch
39live.jp/bdk

チャンネル登録



ここから見てね。



北海道文化団体協議会賞の各賞が決定

「北海道における芸術文化の高揚に尽くされ、業績を上げた個人または団体」を対象に顕彰する北海道文化団体協議会賞が決定。

令和3年度は、芸術賞1個人、道文団協賞2個人、道文団協奨励賞3団体に贈られました。

第51回道文団協賞

第28回芸術賞



小林 洋一
個人／文化活動
苫小牧市

佐々木 かつ子
個人／舞踊
札幌市

荒船 青嶺
個人／俳句
札幌市

受賞者から喜びの声

感謝しつつ、受賞のお礼の言葉とさせていただきます。

芸術賞

荒船 青嶺

第28回北海道文化団体協議会芸術賞を頂きまして、身に余る光栄と心から感謝申し上げます。

道文団協賞

佐々木かつ子

俳句を始め、良い師、良い仲間にも恵まれてずいぶん長い歳月が経ちました。難しいことを言わず、解りやすい作品を詠むことに努め、道内といわず、ねりんピックや国民文化祭でいろいろな地方を廻ることで、土地ごとに有る文化を教えられました。そして基本に有る言葉を正しく受け継ぐ大事なことも認識しました。

その基本を教えてください「俳句」の世界をより大切に伝えていきたいと考えます。生活の中で会話の減っていく現代、文化団体協議会の役割は大切です。身の知人、友人と輪を広げ、より大きな活躍につなげていけたらと考えます。俳句を通してお世話になった皆様から感謝申し上げます。

このたび、第51回北海道文化団体協議会賞を頂き、身に余る光栄に心より感謝申し上げます。

幼少の頃から、踊る、表現することが大好き、生き生きと踊る人が大好き、ものづくりの人が大好きと好きが増えて今日に至っておりますが、その年月には多くの文化活動の方々とお会い、関わり、支えてくださった皆様方と共に歩んだ成果の受賞と存じます。ここに厚くお礼申し上げます。

長きにわたる新型コロナウイルス感染症拡大、防止対策の影響を受けて、文化活動自体が何か後ろめたく感じて閉鎖的になりがちですが、文化、芸術が放つエネルギーは、本来人々を元気にするもの、柔軟な思考で活動を組み立てていくことが、今、必要な条件と存

令和3年度
北海道功労賞を受賞して



北海道文化団体協議会
名誉会長 阿部 典英

この度の受賞につきまして、一番驚いておりますのが、私自身であります。

多くの皆さまから沢山の祝電、電話等をいただきました。その中のお手紙に、北海道の賞で一番重い賞であると記されており、二度驚きました。自分自身、そのような資格が有るのか信じられず、戸惑うばかりです。

鈴木直道知事からの受賞理由は三つ記されておりまして、二番目に「～北海道文化団体協議会、札幌文化団体協議会会長として、道内の地域文化の振興に尽力し～」と記されておりますが、身に余る事でありませう。

思い起こしますと、斎藤大雄四代目会長の急逝で後を継いだのですが、道文団協と札幌文団協の行事の違い等も分からず、会員の皆さま、事務局の方にもいろいろとご迷惑をお掛けしたことでせう。

道文団協では、尖閣諸島問題で日中文化交流事業の急遽変更対応、札幌文団協では10区すべてに区文団協が設立されたことが心に残っております。

今後は微力ではありますが、道・札幌文団協発展に側面から応援させていただきたいと思っております。この度の受賞は、皆さまの温かいご協力、ご支援の賜であり、共に受賞させて頂いたと考えております。心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



栄豊会

団体／箏曲
石狩市
代表 木村 峰子



足寄町文化協会

団体／文化活動
代表 阿部 嘉宏

大正琴 木夢音の会

団体／大正琴
音別町
代表 水金 淳子



道文団協賞

小林 洋一

前日の暴風雨が収まった、初冬の冷たい陽ざしの注ぐ札幌において、第51回北海道文化団体協議会表彰式が行われ、文化団体協議会賞の栄に浴したのですが、この受賞は私個人にはな

前日の暴風雨が収まった、初冬の冷たい陽ざしの注ぐ札幌において、第51回北海道文化団体協議会表彰式が行われ、文化団体協議会賞の栄に浴したのですが、この受賞は私個人にはな

また、コロナウイルス拡散が追い討ちとなり、活動休止する団体もあり、今後はアフターコロナ対応が急がれます。今回の受賞を励みに、地域文化振興・普及に一層努力してまいります。

じます。

将来にわたって持続可能な芸術文化環境を築くために、この厳しい状況から生まれる新たな知恵、工夫が独自の文化活動を推進すると期待しております。

受賞の喜びを力に、これからも北海道の芸術文化活動に、微力ながら携わって参りたいと存じます。

く、苫小牧の地にあつて困難な時も文化の灯を掲げ続けてこられた先人たちの努力の賜物と、改めて深く感謝して



アール・ブリュット

北海道みらい作品展

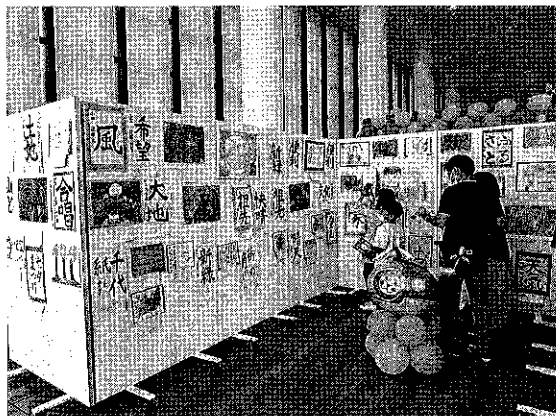
湧き上がる個性

3回目となる「こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展」を、昨年8月20日～22日、札幌文化芸術交流センターSCARTSで開催しました。

この作品展は、障がい児も健常児も区分を設けずに同じ会場で一緒に展示するもので、全国でも例がありません。年々参加者が増え、今回は前回は71点上回る393点の応募がありました。全道の小中学校、特別支援学校・学級、さらには本州の小中学生からも寄せられ、着実にこの取り組みの輪が広がっています。

いずれの作品も子供たち一人ひとりの内面から湧き上がる個性と可能性を秘めた力作ぞろい、来場した多くの人たちに感銘と新型コロナにも負けない元気を与えてくれました。

令和4年は、8月19日(金)～21日(日)に、札幌文化芸術交流センターSCARTSで開催します。多くの皆さまに鑑賞していただけますことを願っています。



「アールブリュット」とは

「生の芸術」という意味のフランス語。Artは芸術、Brutは生粋、自然のままである様子をいい、伝統や技法に囚われず、内面から生み出される衝動のままに表現する新しい芸術分野です。

障がいも個性と捉え、障がい児も健常児もみんな違うからこそ、みんないんだという考え方がこの作品展の基礎になっています。これは国連で採択されたインクルーシブ教育「人間の多様性を尊重し、みんなと一緒に学ぶ」につながる取り組みです。

全道シルバー作品展

第32回全道シルバー作品展には、絵画11点、書23点、写真25点、工芸24点、短詩型79点の、合計162作品の出展があり、例年にも増して秀逸な出来ばえで来場者を魅了しました。

入賞者をご紹介します。

会期 令和3年10月22日(金)～26日(火)

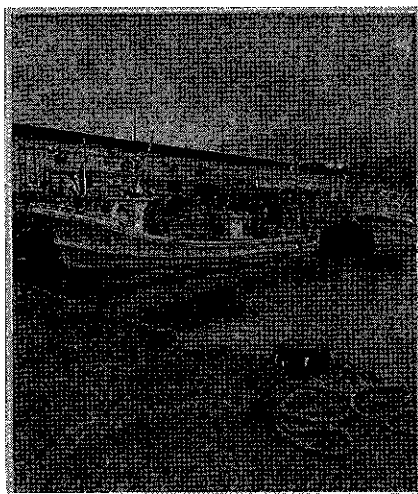
会場 道民活動センター(かでの2・7)展示ホール



吉村 登美子 (北海道知事賞・写真)

「群青色の星空」

評/第一印象がシャープで造形的でした。星景写真は近ごろ多くの方が発表しているのを目にしますが、天体のみだと素人には単調な印象になりがちです。この写真の場合は前景としてアーチのフォルムをもった橋を、しかもワイドレンズでデフォルメ(変形)したところが特徴的です。星の円周と橋の曲線がうまくマッチしています。天体と地上の光的バランスも丁度よく、技術力を感じました。



小西 徹哉 (北海道知事賞・絵画)

「厚田港の昼下り」

評/確実な技術でしっかりと描いていて、共感を持てる。色々な画題に挑戦して欲しい。

北海道知事賞
小西 徹哉 76歳 (絵画)
松浦 春翠 86歳 (書)
吉村登美子 74歳 (写真)
萬屋 路子 71歳 (工芸)
佐藤 多恵 84歳 (川柳)

北海道社会福祉協議会会長賞
中野 圭子 66歳 (絵画)
中野 照夫 72歳 (書)
佐々木保彦 69歳 (写真)
竹内 房子 69歳 (工芸)
堺 ゆき子 85歳 (短歌)

北海道文化団体協議会会長賞
大久保佳代子 74歳 (絵画)
白石 祥子 81歳 (書)
平井 敏雄 71歳 (写真)
堀口 雅行 75歳 (工芸)
田湯 岬 73歳 (俳句)

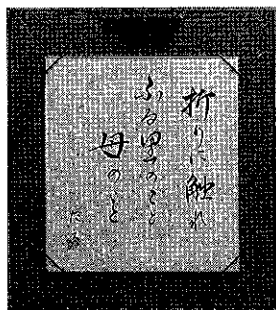
札幌市長賞(特別賞)
印口 信一 88歳 (絵画)
佐々木ひろみ 73歳 (書)
かでの賞(最高齢者特別賞)
成澤 茂 96歳 (短歌)
今井 昭子 91歳 (短歌)



松浦 春翠 (北海道知事賞・書)

「平常心は道」

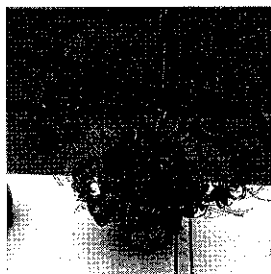
評/コロナ禍にあって、自らに正面から向かい、自然な呼で豊かに、しかも自然に書き抜いた書は、見る人に心の落ち着きを与えてくれる作になりました。



佐藤 多恵 (北海道知事賞・川柳)

「折に触れ ふる里のこと 母のこと」

評/心に触れる句とは、小川のせせらぎのように、ふっと流れてゆく。文字と句は、一対となって郷愁を誘う。ふる里と母は、万人の心に住み、永劫の時を刻み、愛情の鐘を鳴らし続ける。



萬屋 路子 (北海道知事賞・工芸)

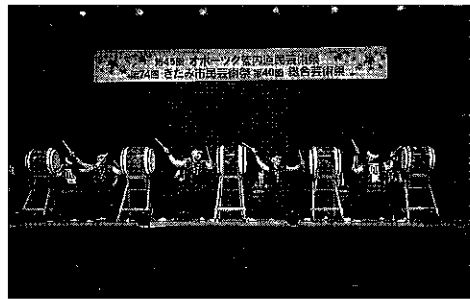
「曼珠沙華」

評/「まんじゅしゃげ」が見事に満開です。花言葉の中に「また会う日を楽しみに」「想うはあなたひとり」とあります。この赤い情熱が、作者の制作する心も表現しているように思います。秀作です。

道民芸術祭



檜山管内文化団体連絡協議会



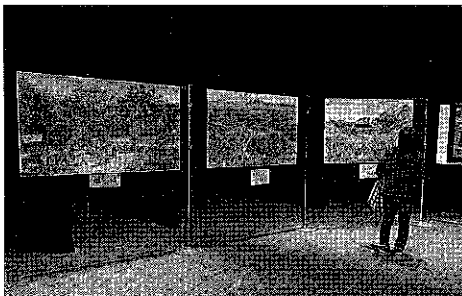
網走管内文化団体協議会



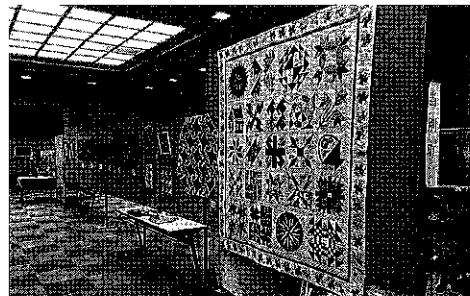
後志管内文化団体連絡協議会



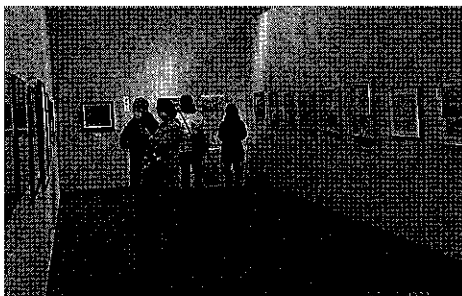
日高管内文化団体連絡協議会



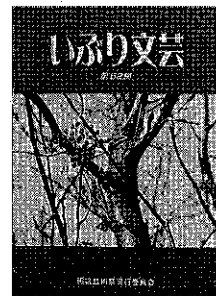
宗谷管内文化団体連絡協議会



石狩管内文化団体協議会



釧路地方文化団体連絡協議会



胆振文化団体協議会



根室管内文化協会連絡協議会



十勝文化団体協議会

令和3年度

道民芸術祭は、道内文化団体の技量向上と交流の促進、そして多くの道民に鑑賞の機会を提供することを目的に実施しています。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、14管内のうち10管内で開催。各地で日頃の研鑽の成果が発表されました。

国民文化祭・わかやま2021 川柳の祭典に参加して

札幌川柳社事務局長 青柳 忠

令和3年11月14日に第36回国民文化祭・わかやま2021「川柳の祭典」が有田市民会館で開催され、北海道から岡崎守会長の他3名が参加した。関西の気温は札幌より7度程高く、天候に恵まれた。

14日の祭典では全国より218名の川柳人等が集まった。12時より開会式があり、有田市長らの祝辞で始まり、舞踊や箏曲のアトラクションがあった。休憩時間は知己



会場となった有田市民会館正面玄関で



参加した石川黎華さん、源津みち子さん、岡崎守さん、青柳忠さん(左から)

の川柳人と情報を交換し、川柳談義に花を咲かせた。午後2時より選者による入選作の披講が行われ、北海道からも「秀作」「佳作」の入選者が出て、元気な声で呼名をした。

入賞句では文部科学大臣賞に「決行の日が来た爪が生え揃う」(愛知・北原おさ虫)が輝いた。北海道からは和歌山県教育委員会教育長賞に小沢淳の作品「ワクチンとみかんを食べて立ち向かう」が見事、入賞した。

活動状況

厳しい環境を克服して活動の成果を

網走管内文化団体協議会

会長 奥出 宣勝

網走管内文化団体協議会は、北見地区文化団体協議会、遠紋地区文化団体協議会、斜網地区文化団体協議会の3市14町の構成で、昭和40年に設立されました。3地区協議会は、地域に根差した伝承文化を基に今日まで多岐にわたる文化活動の推進に努めてきました。しかしながら、一昨年より

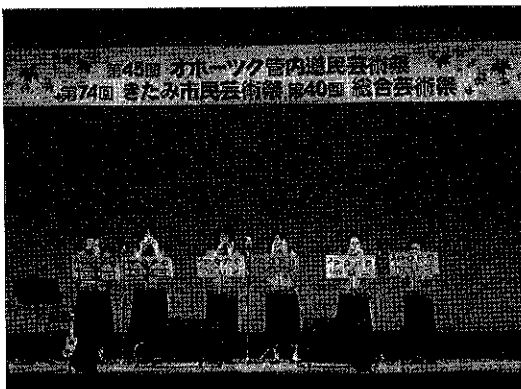
の新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの文化活動にとどまらず、すべての分野に対し計り知れない負の遺産をもたらしています。

このような厳しい状況の中、関係者の努力により、北見市においては道民芸術祭として美術展、書道展、舞台部門等を開催し、220点の作品と多くの来場者を得ました。紋別市においては、67回市民芸術祭(千名動員)、創立65周年記念事業として講演会の開催、コロナ対策に係る特別招へい事業として札幌演奏会を開催するなど、厳しい環境を克服し活動の成果をあげています。

残念ながら私ども網走では、後藤田会長の突然の不幸等もあり、子供書道、絵画展(3回開催)、華道展以外

は、道民芸術祭をはじめとする事業を中止せざるを得ませんでした。こうした状況に加えて、文連役員体制や加盟団体役員の高齢化等の問題を抱えています。3協議会が足並みを揃えることが出来るよう体制強化に努め、責任を果たせなければと思っています。

道内関係団体及び皆さまの益々のご発展、ご活躍を心から祈念いたします。



きたみ市民芸術祭の舞台部門

令和4年度 ほっかいどう 文団協事業予定

- ▽4月～3月
令和4年度道民芸術祭
(全道14管内各会場)
- ▽4月14日(木)
北海道文団協「役員会」
全道14管内会長会議
(札幌市教育文化会館研修室402)
- ▽5月12日(木)
北海道文団協「総会」
(札幌市教育文化会館研修室403)
- ▽6月16日(木)
東北・北海道芸術文化団体協議会総会
(宮城県)
- ▽8月19日(金)～21(日)
こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展
(札幌文化芸術交流センターSCARTS2階)
- ▽9月下旬
第59回道北文化集会(美深町)
- ▽9月30日(金)～10月4日(火)
第33回全道シルバー作品展
(札幌市/かでのる2・7)
- ▽10月22日(土)～11月27日(日)
第37回国民文化祭・美ら島おきなわ文化祭
(沖縄県)
- ▽11月3日(木)～6日(日)
第64回北海道文化集会
北海道・中国黒龍江省国際交流事業
(北海道立近代美術館)
- ▽11月12日(土)～15日(火)
第34回全国健康福祉祭かながわ大会
ねんりんピック神奈川2022美術展
(神奈川県)

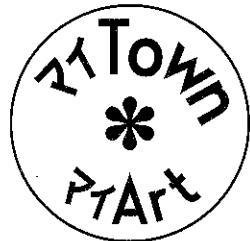
文団協の事務局が移転します (令和3年3月時点の予定)

札幌市教育文化会館の改修工事(令和5年1月～令和6年10月頃)に伴い、工事期間中、北海道文化団体協議会事務局は札幌コンサートホールKitara内に一時移転します。

移転先住所: 札幌市中央区中島公園1番15号(地下鉄中島公園駅から徒歩7分)

お知らせ

参加団体募集



プロジェクト

広い北海道では芸術文化活動にも地域ごとの特色があります。日頃から地道な活動を繰り返し広げる活動を、自分たちの地域だけでなく全道の皆さんにも知っていただくための企画が「My Town * Artプロジェクト」です。

【対象団体】

各団体の発表会等や14管内単位で実施している道民芸術祭も対象とします。道内で活動する団体で、当面は14管内文化団体協議会を窓口として申し込める団体。

【対象となる動画】

参加を希望する団体が制作した映像を、北海道文団協ホームページのユーザーチャンネルで配信します。多くの団体のご参加をお待ちしています。

【対象分野】

舞台芸術(舞踊、音楽、演劇、伝統芸能等)、展示発表(絵画、書、いけば花、陶芸、現代美術等)、その他(茶道、短詩型等)

〇〇。あとがき。〇〇

2019年末から世界に広がったコロナ禍は、2022年を迎えた今も終息が見通せません。私たちの日常では、コロナ以前とは全く違った配慮が求められるようになりました。地域文化の様々なシーンで欠くことのできない人との繋がり、ふれあいがためらわれる中で、なんとか活動を継続しようとして、各地で工夫した取り組みが行われていることを誌面でご紹介しています。私たち道民は「一人一人がひとしく豊かな文化的環境の中で暮らす権利を有する」(北海道文化振興条例)という誇りを持って、諦めることなく共に進みましょう。(裕)

北海道芸術文化(道文団協広報)

第 68 号

2022年3月25日発行

北海道文化団体協議会
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目
札幌市教育文化会館内
電話 (011) 271-5036
FAX (011) 271-5046

E-mail: bundankyo@msj.biglobe.ne.jp
ホームページ: http://doubun.wp.xdomain.jp/